



世界中から集まった12人のメンバー

World YMCA NEWS

2019
7

国連アドボカシーグループ

—世界YMCA同盟

現在、世界では環境問題や貧困問題、諸国間の対立など、様々な問題が存在しています。これらの問題は、世界中の子どもたちや、若者たちに影響を与える大きな問題です。したがって、“ユースの声”を取り入れることは非常に大切なことです。

世界のYMCAには5,800万人を超えるユースが存在します。私たちはユースの声に耳を傾け、「グローバル社会を良くしていこう」という彼らの思いをエンパワーしなくてはなりません。

さらに、YMCAは72年前に国連経済・社会理事会によって特別な認定を受けました。この認定は、議会に参加し、世界をまたいでユースの声を反映させることのできる特権でもあり責任でもあります。

これまでの経験を活かしてユースの声を反映させるため、世界YMCA同盟は初の国連アドボカシーグループを立ち上げました。このグループの目的は以下の2つです。

- ①YMCAと国連との架け橋となることで、YMCAの認知度を高め、ユースの団体として位置づけること
- ②SDGsのイニシアチブを紹介することで、YMCAムーブメントの可視性を高めること

アドボカシーグループはYMCAを代表して国連のイベントに出席し、そこでYMCAの方針を提案します。その後はイベントの報告、フィードバックを行います。また、社会問題に対する立場表明を行ったり、要請があった場合には、国連に提出する声明を作成したりします。

アドボカシーグループには世界中から何十もの応募がありました。その後、世界YMCA同盟による選考を経て、12人がメンバーに選出されました。ヨーロッパやアジア、アメリカなど出身国は様々です。

メンバーは4月上旬にニューヨークで行われたフロストバレーYMCA主催のミーティングに参加し、その後は国連本部で行われたECOSOC(国際連合経済社会理事会)ユースフォーラムに参加しました。

アドボカシーグループの活動は世界YMCA同盟のSNSを通して知ることができます。

#YoungVoicesMatterで検索してみてください。

また、アドボカシーグループの詳細については国連アドボカシーコーディネーター Răzvan-Victor Sassu (Twitter: @RazvanSassu) までお問い合わせください。

世界YMCA同盟ホームページより
<https://www.ymca.int/secretary-general-message-movement/>

職業訓練校で活動報告

— 東エルサレムYMCA

facebook.com/ymcavtc



↑技術指導を受けるパレスチナの若者たち

東エルサレムにある職業訓練校では、パレスチナの労働者を優れた人材として育てるため、若者に専門的な技術指導をしています。

対象となるのは厳しい経済状態にあり、学校からの退学を余儀なくされたパレスチナの女性や若者です。コースは長期と短期の2つのコースに分けられています。

長期コースの期間は2年間で、1年目は8割が実践的なトレーニング、残り2割が論理的なレクチャーです。2年目は7か月に及ぶ研修プログラムを経て、実際に地で働きます。スタッフは彼らをフォローアップし、評価を行います。コース内容は、機械・塗装・金属加工・電気・ソーラー発電・衛生設備・エアコン設置修理・グラフィックデザイン・電子工学など様々です。現在は126人の生徒がこのコースを受講しています。

短期コースの対象は、教育を受ける機会がない、長期コースに参加できない、資格なしでは働けない、職業証明書を習得したいという女性と若者です。コース内容は、家庭電器配線・農業/家庭菜園・食品の調理です。

昨年度の職業訓練校全体の参加人数は421人（20%が女性、80%が男性）でした。

この他にもGIZ（ドイツ国際協力公社）と共同のサマーキャンプや、地域パートナーと協力した就職フェアなども行っています。

施設面では持続可能な農園やエコファームを充実させるなどして、環境にも配慮しています。

また、学習障がいや精神障がい、家庭問題などの生きづらさを抱える受講者に対しては、心理カウンセリングや特別な講義を設けたり、スタッフの人数を増やしたりなどのフォローアップを行っています。

テロリズムに立ち向かうために考えたこと

— アジア太平洋YMCA同盟 ムリエル・モンテネグロ氏



↑爆撃が起こったセント・セバスチャン教会

今年4月21日、復活祭を祝う日曜日に、スリランカで自爆テロが発生しました。死者数は257人、負傷者数は約500人に達しました。これを受け、アジア太平洋同盟のムリエル・モンテネグロ氏が声明を発表しました。

「テロリズムに立ち向かうために考えたこと」 アジア太平洋YMCA同盟 ムリエル・モンテネグロ

テロリズムの構造はとても複雑です。テロリズムはイデオロギーや「個人の人格」の問題ではありません。テロを起こす人は、学校に通い、仕事をし、地域の活動に参加しているごく普通の人間なのです。

なぜ、なんのためにテロリズムは起こるのか、という問いに簡単な答えや解決策はありません。しかし、私たちはどんなに魅力的で優れた人でも悪をもたらし可能性があることを認識し、その悪の背景にある構造、システムに着目しなければなりません。

それゆえ、テロをはじめとする邪悪な行為がどのように社会、政治、経済、文化、そして宗教的な価値システムの中で変化していくのかを吟味する必要があります。その際には固定概念を捨て、他者の視点に立って物事を見ることが重要です。

World
YMCA
NEWS
2019.7

発行
2019年7月1日
日本YMCA同盟
03-5367-6640
info@ymcajapan.org